

# 平成30年度中小廃棄物処理施設における 廃棄物エネルギー回収方策等に係る説明会(関西地区)

2018-11-1

環境省

廃棄物資源循環学会

[趣旨] 廃棄物エネルギーの回収・利用を推進することは、温室効果ガスの排出削減につながり、地球温暖化防止の観点からも重要です。国内において廃棄物処理施設の約半数を占めている100t/日未満の中小廃棄物処理施設では、発電等の廃棄物エネルギーの回収が十分に行われていないことから、環境省では、当該施設における廃棄物エネルギーの回収を促進するための取組を進めています。

この度、市町村の担当者等を対象にして、廃棄物エネルギーの回収について一層の促進を図るために説明会を開催します。本説明会では、環境省の取組や中小廃棄物処理施設における先導的な処理事例を紹介します。

市町村等の担当者をはじめ廃棄物処理に関わる関係者の方々にはぜひ御来場下さい。

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会

[日時] 2018年12月12日(水) 13:30~16:50 (受付は13:00より開始)

[会場] キャンパスプラザ京都 第3講義室(京都市下京区西洞院通小路下る東塩小路町939)

地図:<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access> 075-353-9111

[交通] JR京都駅より徒歩5分

[定員] 100名(事前申込み制)、自治体関係者を優先

[会費] 説明会:無料 説明会後に意見交換会を予定

[参加申込み] 学会ホームページ(<https://jsmcwm.or.jp/?p=13797>) から申込みください

[プログラム]

13:30~13:40 開会の挨拶 廃棄物資源循環学会 理事 渡邊信久(大阪工業大学)

第1部 廃棄物分野におけるエネルギー回収の必要性と現状 座長 渡邊信久(大阪工業大学)

13:40~14:05 環境省における廃棄物エネルギー回収の考え方

大沼 康宏(環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課)

14:05~14:20 中小廃棄物処理施設のエネルギー回収の現況について

溝田健一((一財)日本環境衛生センター)

第2部 先導的な廃棄物処理に係る事例報告(自治体等) 座長 中村一夫((公財)京都高度技術研究所)

14:20~14:45 縦型乾式メタンと適切な事業系廃棄物との組み合わせによる最適化

町川和倫(株富士クリーン)

14:45~15:10 生ごみや廃食用油の有効利用に向けたハイブリッド施設整備と広域連携構想に向けて

前原正明(船井衛生管理組合)

15:10~15:35 生ごみ分別・バイオガス化を核とする循環による持続可能なまちづくり

藤田浩史(真庭市環境課)

15:35~16:00 生ごみなどのバイオガス化併設整備とその整備管理手法検討について

和田野喜一(宮津与謝環境組合)

16:00~16:25 京都市の取組み(仮)

平松寛章(京都市)

16:25~16:35 閉会の挨拶

17:00~19:00 意見交換会